

エコアクション21

環境経営レポート

有限会社 新喜電機製作所

発行日 2024年11月27日

改定日 2025年4月1日

(対象期間 2023年11月01日～2024年10月31日)

## 目 次

1. 組織の概要	1
1) 事業所名及び代表者氏名	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	
4) 事業活動の内容	
5) 事業の規模	
6) 対象範囲	
2. 実施体制	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営目標の実績	6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組内容	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無	8
9. 代表者の全体評価と見直し結果・指示	9

## 1. 組織の概要

### 1) 事業所名及び代表者氏名

有限会社 新喜電機製作所  
代表取締役 木村時子

### 2) 所在地

本社・工場 : 〒510-8112 三重県三重郡川越町亀須新田 118

### 3) 環境管理責任者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 : 木村俊夫  
連絡先 : 059-364-2192 FAX : ☎と同じ  
E-mail : araki-denki@nifty.com

### 4) 事業活動の内容 モーター回転機の製造

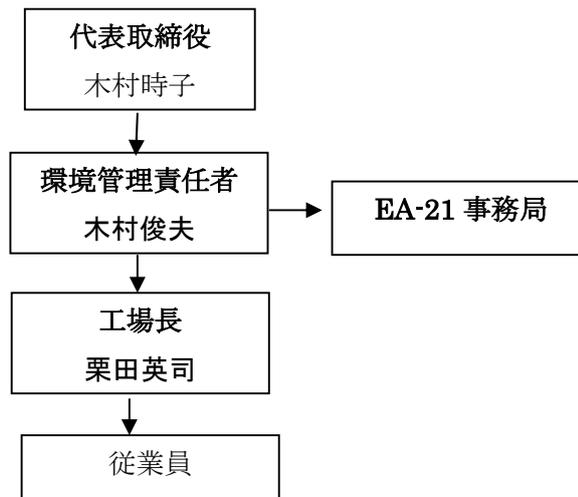
### 5) 事業規模

法人設立年月日 : 1991年(平成3年) 2月 8日  
資本金 : 300万円  
事業年度 : 11月~翌年10月  
売上高 : 8775万円(2023年度)(事業年度11月~10月)  
従業員 : 8人(2024年10月現在)  
敷地面積 : 700㎡(床面積 約400㎡)

### 6) 対象範囲(認証・登録範囲)

全組織・全活動

## 2. EA21実施体制図



役職	担当者	役割・責任・権限
代表者	木村時子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境方針の策定</li> <li>・ 環境管理責任者の任命</li> <li>・ 代表者による全体の評価と見直し</li> <li>・ 環境経営システム構築のための資源（人・物・金）の提供</li> </ul>
環境管理責任者	木村俊夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営システムを構築・運用・維持し、その状況を代表者に報告</li> <li>・ 外部からの苦情等の受付</li> <li>・ 環境活動レポートの作成及び費用の管理</li> </ul>
工場長	栗田英司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各現場への伝達と実施状況管理報告</li> </ul>
全従業員	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境方針の理解と環境への取組みの重要性の理解</li> <li>・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

### 3. 環境経営方針

## 環 境 経 営 方 針

当社は、モーター回転機の製造事業において、環境に影響する業務がある事を認識し、環境経営システムを構築及び運用することにより、自主的・積極的に継続して環境負荷低減への取り組みを推進します。

1. 環境関連法規則や当社が約束したその他の要求事項を遵守します。
2. 当社の事業活動において、具体的な環境経営目標及び環境経営計画を定め継続的改善を実施します。
  - ①省エネルギーに取り組み二酸化炭素の排出量を削減します。
  - ②分別の徹底・リサイクルを推進し廃棄物排出量を削減します。
  - ③化学物質の適正管理に努めます。
  - ④工程不良を削減し、環境に配慮した製品製作を常に実施します。
  - ⑤社会貢献活動を積極的に行います。
3. 本方針の全従業員への周知徹底に努めます。

制定日 2019年8月5日

改定日 2024年4月3日

有限会社 新喜電機製作所  
代表取締役 木村 時子

## 4. 環境経営目標

環境経営目標は2017年度(2017年11月~2018年10月)を基準年度とした環境負荷の実績を年度基準として目標を設定しました。

目標項目		単位	基準年度	年度目標		
			2017年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	28,020	5%削減 26,619	6%削減 26,339	6.5%削減 26,199
	電力使用量の削減	kWh	26,999	5%削減 25,649	6%削減 25,379	6.5%削減 25,244
	ガソリン使用量の削減	L	3,112	5%削減 2,956	6%削減 2,925	6.5%削減 2,910
	軽油使用量の削減	L	3,064	5%削減 2,911	6%削減 2,880	6.5%削減 2,865
	LPG ガス使用量の削減	kg	50	5%削減 47.5	6%削減 47	6.5%削減 47
削減 廃棄物	一般廃棄物の削減 (焼却ごみ)	kg	2020年度 169.5	2%削減 166.1	3%削減 164	3.5%削減 163
節水	水使用量の削減	m <sup>3</sup>	2020年度 10	2%削減 9.8	3%削減 9.7	3.5%削減 9.6
製品 環境配慮	不良品の削減	件数	5	3	3	3
社会貢献	会社周辺の清掃	件/月	—	1回/月	1回/月	1回/月

- ・ 電力使用量のCO<sub>2</sub>調整後排出係数は、中部電力の2017年度値0.472kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用
- ・ 化学物質の使用量は少量の為、適正な管理に努めることとします。

## 5. 環境経営計画

### 環境経営計画(2023 年度)

環境目標項目	取組内容 (取組の自己チェックを踏まえる)	担当部門 (担当者)
電力使用量の削減	冷暖房管理の徹底(夏 27 度、冬 20 度)	全従業員
	空調機のフィルターを 3 回/年清掃する	
	休憩時、不要時の照明の消灯徹底	
	不使用の O A 機器電源 OFF	
	設備の不使用时の主電源 OFF	全従業員
	コンプレッサーのエア漏れの点検(月 1 回)	
ガソリン・軽油使用量の削減	エアイドリングストップの徹底	運転手
	エコドライブの実施	
LPG ガスの削減	適正使用に努める	責任者
一般廃棄物の削減	分別を徹底する	全従業員
	資源化促進	
水使用量の削減	節水表示、節水呼びかけ	全従業員
不良品の削減	作業手順を再確認して、正確な作業に努め、不良品低減に努める。	全従業員
会社周辺の清掃	会社周辺の清掃実施 (1 回/月 7-8 月は休み、熱中症対策)	全従業員

## 6. 環境経営目標の実績

目標項目 (負荷の自己チェックを踏まえる)		単位	基準年度	目標	実績	対目標 増減	評価
			2017 年度	2023 年度	2023 年度	%	○×
二酸化炭素の排出	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	28,020	6%削減 26,339	27,536	+4.4	×
	電力使用量の削減	kWh	26,999	6%削減 25,379	22,718	-11.7	○
	ガソリン使用量の削減	L	3,112	6%削減 2,925	2,876	-1.7	○
	軽油使用量の削減	L	3,064	6%削減 2,880	3,837	+25	×
	LPG ガス使用量の削減	kg	50	6%削減 47	80	+42	×
廃棄物	一般廃棄物の削減	kg	2020 年度 169.5	3%削減 160	88.9	-80	○
節水	節水	m <sup>3</sup>	2020 年度 10	3%削減 9.7	8	-21	○
境配慮	製品の不良品の削減	件数	5	3	0	0	○
貢献	会社周辺の清掃	件/月	—	1回/月 7-8月 中止	10	0	○

○：出来た ×：出来なかった

注記：電力使用量の CO<sub>2</sub>調整後排出係数は中部電力 2017 年度値 0.472kg-CO<sub>2</sub>/kwh を使用

## 7. 環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取り組み

○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境経営計画	担当者	結果	評価と今後の取組内容
電力使用量の削減			環境経営目標達成状況：達成(15.8%減少)
冷暖房管理の徹底(夏27度、冬20度)	全員	○	ミーティングで目標意識を高めてもらうことはできた。今後も継続 業務用エアコンを最新型に入れ替えた(8月)
空調機のフィルター清掃を月末に実施(7-9月)		○	
休憩時、不要時の照明の消灯		○	
不使用のOA機器電源OFF		○	
設備の不使用时の主電源OFF	全員	○	全体的に工場稼働日が減ったため、電気使用量は減少傾向
コンプレッサのエア漏れの点検		○	
ガソリン・軽油使用量の削減			環境経営目標達成状況： ガソリン：達成(7.6%削減) 軽油：未達成(25%増加)
エコドライブの実施	運転手	○	運転手のエコ活動が習慣づいた ※今後も継続
アイドリングストップの徹底	運転手	○	
LPガスの削減			環境経営目標達成状況：未達成(60%増加)
適正使用に努める	使用者	○	LPGガスを使用する製品の割合が増加
一般廃棄物の削減			削減に努める
分別を徹底する	全員	○	今後も継続
資源化促進	全員	○	
水使用量の削減			節水に努める
節水表示、節水呼びかけ	使用者	○	節水札を設置した ※今後も継続
不良品の削減			環境経営目標達成状況：達成
作業手順の確認	全員	○	手順書通り出来た ※今後も継続
会社周辺の清掃実施			環境経営目標達成状況：達成
清掃実施(1回/月)	全員	○	ほぼ実施(8-9月は熱中症考慮して中止) ※今後も継続

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

適用法令等	内 容	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保 産業廃棄物の実績なし	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検、廃棄時の適正回収・破壊措置義務	遵守
騒音規制法	騒音基準の順守 空気用圧縮機 3.7KW 届け出不要	遵守
振動規制法	振動基準の順守 空気用圧縮機 3.7KW 届け出不要	遵守
家電リサイクル法	使用済特定家電の引取業者への適正な引渡し	該当なし
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への適正な引渡し	該当なし
高圧ガス保安法	各種ガスボンベの適正管理	遵守

※ 期間中、家電・自動車の廃棄はありませんでした。

最新版の確認を毎年11月に実施、全従業員で共有する。

順守評価を毎年11月に実施する。

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認・評価の結果は環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘、訴訟は、過去3年間ありません

2024年11月27日 環境管理責任者 木村俊夫

## 9. 代表者による全体評価と見直し結果・指示

### 全体評価

今年度の削減目標は2022年度目標の5%から6%へ引き上げられた。業績の落ち込みは止まらず、工場の稼働日もさらに減ったために電気使用量は目標を下回ることができたが、全体的なCO<sub>2</sub>排出量削減目標は未達成となった。

### 見直し結果

8月にメインの業務用エアコンを二台とも入れ替える設備投資をした。いままで真夏になるとブレーカーの消費電力警報アラートが鳴るなどあったのがほとんどなくなり、電気の使用量も真夏ピークの稼働時間中を比較して、エアコン入れ替え前と後とでは一時間につき3kwh、約2割ほど減少していると思われる。照明のLED化は同じく工事等必要なため来年度以降の課題としたい。この先操業日数が増えたときにどのような使用量変化があるか注意して見ていきたい。廃棄物処理においては棚卸や年末清掃なので大量に出たときのために、処理業者と契約をすすめている。2023年度は依頼するほどの量がなかったため、2024年度から始める予定。

これからも本活動を継続することにより、社員一人ひとりの環境に対する意識が高まる等、全社一丸となって積極的に企業としての価値を向上させていきたい。

環境経営システムについて見直しましたが、環境方針等変更はしません。

2024年11月27日

有限会社 新喜電機製作所  
代表取締役 木村 時子